

## ご家族に新型コロナウイルス感染が疑われる場合 家庭内でご注意いただきたいこと ～8つのポイント～

(一般社団法人日本環境感染学会とりまとめを一部改変) 令和2年3月1日版

### 部屋を分けましょう

- ◆ **個室にしましょう。** 食事や寝るときも別室としてください。  
・子どもがいる方、部屋数が少ない場合など、部屋を分けられない場合には、少なくとも2m以上の距離を保ったり、仕切りやカーテンなどを設置することをお薦めします。  
・寝るときは頭の位置を互い違いになるようにしましょう。
- ◆ **ご本人は極力部屋から出ないようにしましょう。**  
トイレ、バスルームなど共有スペースの利用は最小限にしましょう。

### 感染者のお世話はできるだけ限られた方で。

- ◆ 心臓、肺、腎臓に持病のある方、糖尿病の方、免疫の低下した方、妊婦の方などが感染者のお世話をするのは避けてください。

### マスクをつけましょう

- ◆ 使用したマスクは他の部屋に持ち出さないでください。
- ◆ マスクの表面には触れないようにしてください。マスクを外す際には、ゴムやひもをつまんで外しましょう。
- ◆ マスクを外した後は必ず石鹸で手を洗いましょう。  
(アルコール手指消毒剤でも可)

※マスクが汚れたときは、すぐに新しい清潔な乾燥マスクと交換。  
※マスクがないときなどに咳やくしゃみをする際は、ティッシュ等で口と鼻を覆う。

### こまめに手を洗いましょう

- ◆ こまめに石鹸で手を洗いましょう、アルコール消毒をしましょう。洗っていない手で目や鼻、口などを触らないようにしてください。



### 換気をしましょう

- ◆ 定期的に換気してください。共有スペースや他の部屋も窓を開け放しにするなど換気しましょう。

### 手で触れる共有部分を消毒しましょう

- ◆ **共用部分** (ドアの取っ手、ノブ、ベッド柵など) は、**薄めた市販の家庭用塩素系漂白剤で拭いた後、水拭き**しましょう。  
・物に付着したウイルスはしばらく生存します。  
・家庭用塩素系漂白剤は、主成分が次亜塩素酸ナトリウムであることを確認し、使用量の目安に従って薄めて使ってください (目安となる濃度は0.05%です (製品の濃度が6%の場合、水3Lに液を25mlです。))。
- ◆ **トイレや洗面所は、通常の家庭用洗剤ですすぎ、家庭用消毒剤でこまめに消毒**しましょう。  
・タオル、衣類、食器、箸・スプーンなどは、通常の洗濯や洗浄でかまいません。  
・感染者の使用したものを分けて洗う必要はありません。
- ◆ **洗浄前のもを共用しないようにしてください。**  
・特にタオルは、トイレ、洗面所、キッチンなどでは共用しないように注意しましょう。

### 汚れたリネン、衣服を洗濯しましょう

- ◆ **体液で汚れた衣服、リネンを取り扱う際は、手袋とマスクをつけ、一般的な家庭用洗剤で洗濯し完全に乾かしてください。**  
・糞便からウイルスが検出されることがあります。

### ゴミは密閉して捨てましょう

- ◆ **鼻をかんだティッシュはすぐにビニール袋に入れ、室外に出すときは密閉して捨ててください。** その後は直ちに石鹸で手を洗いましょう。

- ご本人は外出を避けて下さい。
- ご家族、同居されている方も熱を測るなど、健康観察をし、不要不急の外出は避け、特に咳や発熱などの症状があるときには、職場などに行かないでください。

# 新型コロナウイルス感染症に対する市の対策

## 市では新型コロナウイルス感染症の対策として以下の対策を行いました

- 市対策本部会議を開催
- 市で行う事業やイベントの延期・中止
- 市内小中学校の臨時休業
- 休学中の児童預かりと給食の提供
- 卒業・卒園式の人数を制限
- 学校給食余剰食材を市内福祉施設やフードバンクへ提供
- 中小企業・小規模事業者へ融資制度の周知とセーフティネット保証認定書、小規模事業者持続化補助金証明書の発行
- 市立図書館で広い世代が楽しめる多彩なジャンルの電子書籍を追加 など

最新の情報は、**市ホームページ**をご覧ください。  
手洗いや咳エチケットを徹底し、**人ごみを避ける**などの  
感染症予防に努めていただくようお願いします。



## 予防のお願い

### 1 日常生活で気を付けること

まず**基本の手洗い**が大変重要となります。外出先からの帰宅時や調理の前後、食事前などにこまめに石けんやアルコール消毒液などで手洗いをお願いします。また、咳などの症状がある方が咳やくしゃみを手で押さえると、その手で触ったものにウイルスが付着し、ドアノブなどを介し病気をうつす可能性がありますので、咳エチケットをお願いします。

### 2 集団感染を防ぐために

国内のスポーツジムや屋形船などでは、一人の感染者が複数に感染させる事例が報告されています。この集団感染の共通点として「換気が悪い」「人が密集して過ごす」「不特定多数の人が接触するおそれが高い」があり、こういった空間に集まることを避けてください。

### 3 こんな症状がみられたら

次の症状がある方は、**直接医療機関へ行かず「帰国者・接触者相談センター」**にご相談ください。  
・風邪の症状や37.5℃以上の発熱が4日以上続いている。※高齢者や基礎疾患のある方は、2日程度続く場合。  
(解熱剤を飲み続けなければならないときを含みます)  
・強いだるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)がある。  
センターでご相談の結果、感染の疑いのある場合には、専門の「帰国者・接触者外来」をご紹介します。

帰国者・接触者相談センター  
・滋賀県業務感染症対策課 (平日・土日祝日 24時間対応)  
電話:080-2470-8042 FAX:077-528-4863 Mail:corona-soudan@pref.shiga.lg.jp  
※聴覚に障害のある方をはじめ、電話での相談が難しい場合は、メールまたはFAXでお問い合わせください。  
・甲賀保健所(平日8:30-17:15)  
電話:080-8527-5165 FAX:0748-63-6142 Mail:ea31@pref.shiga.lg.jp

# 感染症対策 へのご協力をお願いします

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。

### ① 手洗い 正しい手の洗い方

手洗いの前に ・爪は短く切っておきましょう ・時計や指輪は外しておきましょう

- 流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。
- 手の甲をのばすようにこすります。
- 指先・爪の間を念入りこすります。
- 指の間を洗います。
- 親指と手のひらをねじり洗います。
- 手首も忘れずに洗います。

石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

### ② 咳エチケット 3つの咳エチケット

電車や職場、学校など人が集まる場所でやる



### 正しいマスクの着用

- 鼻と口の両方を確実に覆う
  - ゴムひもを耳にかける
  - 隙間がないよう鼻まで覆う
- 何もせずに咳やくしゃみをする



詳しい情報はこちら

